

2012. 3月  
みなみ  
じどうかん

# かっぱのてがみ

かっぱ会員券特集号

住所 〒164-0014 東京都中野区南台5-15-3 でんわ (3382)7399  
メール minamijidoukan@city.tokyo-nakano.lg.jp FAX (3382)7472

## あたらしいルール、決まる！！

「ゲーム機やバトルカード、かっぱ会員券のルール」について、1月11日と18日の二日間にわたって話し合い、ついに結論が出ました。

普段ゲームをしている子の中で、当日児童館に遊びに来ていたのに会議には参加しなかった子がいたのはとてもとても残念でした。でも、会議の参加者はいろいろ意見を言い、この新しいルールでとにかくやってみよう、問題があったらまた話し合おうということになりました。

ルールの変更に合わせて、かっぱ会員券も新しくすることにし、作成者を募ったところ、川田君が名乗りを上げてくれ、家でアイデアを考えて児童館に持ってきてくれたので、新かっぱ会員券ができあがりしました！！

これからはゲームをする場合、あらためて新かっぱ会員券を取ってもらい、新ルールを守ってもらうこととなります。3月6日（火）午後3時から、新かっぱ会員券の受付を開始します。

子どもたちと話し合ったことと新しいルール

券を取る時のキーワード

★なくしたり壊れたりしないように自分で責任を持ちます。

自分の物は人にあずけたり、置きっぱなしにしたりせず、自分で管理します。

ゲームやカードは自分で責任をもち、自分で管理します

★2階でゲーム以外の遊びをしたい子が過ごす場所もなくては困る。

管理のしやすさも考え、ゲームは2階図書コーナーだけを使います。

ゲームやカードができるのは2階の図書コーナーだけ

★時間は ・学校のある日は午後3：30～5：30まで。

・学校の無い日は午後2：30～ 4：30

時間を守ります

（やる時間は1時間くらいを目安にしましょう）

★「4時からかっぱ」など、皆が対象の行事がおこなわれている

時間は、ゲームはできません。ぜひ、皆との遊びに参加してください。

行事などでゲームができない日もあります

★かける物にはすべてに名前を書きます。

書けるのに書いてないときはその場で書いてもらいます。

ゲームやカードには名前を書きます

★数量は、自己管理できる数だけを持ってきます。

（目安としては、カードはデッキ2つ分プラスアルファで

最高150枚まで、ゲームソフトは3つまで）

ゲームやカードは自分で管理できる数だけ持ってきます

★カードをあげたり交換したりは、トラブルのもとなので児童館では

外も含めて禁止です。（保護者の監督下でするように！）

カードをあげたり交換したりは禁止です

★児童館が開いているときはルールを守って児童館の中でゲームや

カード対戦をします。

月曜日など児童館が閉館で、外でするときは自己責任で。

ゲームやカードは児童館の庭ではしません

## 新しんかかっっばば会かい員いん券けんのとり方かたと使つかい方かた

- ①新あたらしいいルるールを、何なにも見みないで言いえるよように覚おぼえる。
  - ②児じ童どう館かんでテあたらスト。新いしいいルるールを、ななににも見みないで言いうこことがでできたら合ごう格く！ →キキーーワワーードドががいいええれればば OK
  - ③かかっっばば会かい員いん券けん用よう紙しををもららい、家いえに持もち帰かえる。
  - ④保ほ護ご者しゃにもルるールを見みてもららい、家かてい庭ていのルるールについても話はなし合あう。
  - ⑤家かてい庭ていで話はなし合あつたら、会かい員いん券けんの所しよ定ていの場ばしよ所所に保ほ護ご者しゃのサさインをもららい、自じ分ぶんのな名な前まへも書かく。
  - ⑥かかっっばば会かい員いん券けんを児じ童どう館かんに持もって来きて、ラかミこネうーと加か工こうををししたら出で来き上あがり。
  - ⑦かかっっばば会かい員いん券けんは児じ童どう館かんに置おいておおく。
  - ⑧ゲゲームをするときは児じ童どう館かんの券けん置おき場ばからかかっっばば会かい員いん券けんをもっていいき、かかたたわわららに置おきなががらゲゲームをする。
  - ⑨ゲゲームが終おわわつつたら、かかっっばば会かい員いん券けんを会かい員いん券けん置おき場ばにもどる。
- ※かかっっばば会かい員いん券けんは再さい発はつ行こうしません。
- 児じ童どう館かんに置おくので、持もって帰かえってしままわわななければばななくくす心しん配ぱいははいいははずずです。
- ここれれままでのよような当とう日じつ券けんもあありりまません。

### 保ほ護ご者しゃの方かたへ

みなみ児童館としては、子どもたちの心や身体が育つ大切なこの時期、仮想世界ではなく、生身の子どもたち同士が、心と体を使い、関わりあいながら遊ぶという体験を是非してほしいと思っており、児童館でゲームをすることを推奨する立場ではありません。

これまでルールが守れなかったということもあり、いっそゲームで遊ぶことを禁止としてはどうかという考えもありました。

ですが、今の子どもたちは、児童館でできなくなったなら場所を変えてゲームをし続けるであろうことは想像がつかます。それならば、スタッフの目がある児童館の中で、ルールを守ることを指導しながらゲームを認めるという選択をしました。

いろんな家庭の子が集う児童館ですので、ゲームについても各家庭で様々な考え方があると思います。ゲームが与える影響も、子どもひとりひとりによって違いがあると思います。

児童館のルールだけでなく、それぞれの家庭でも是非話し合いを持っていただき、「わがやのルール」を確認し合っていたらと思います。

私たちはご家庭と一緒に子どもたちの成長を見守っていきたくて考えております。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。